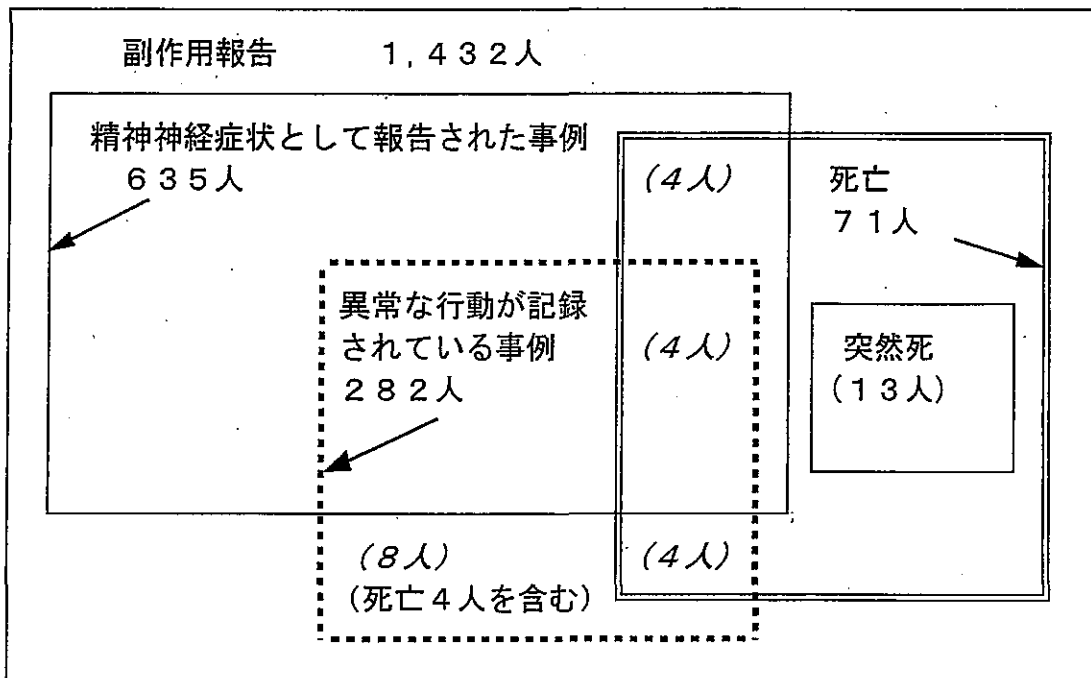


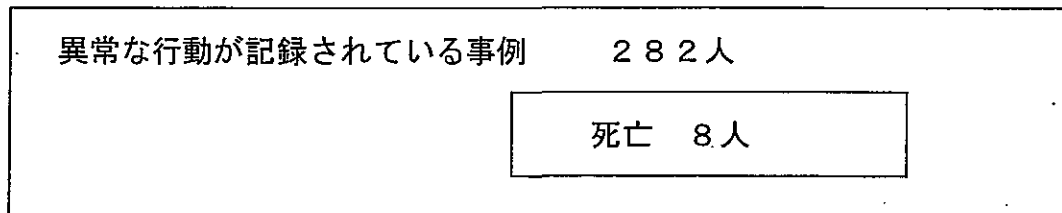
タミフルの副作用報告の精査について（その4）

1. 現段階における精査の状況

(1) 副作用報告の全体像



(2) 異常な行動が記録されている事例



	10歳未満	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～	不明	合計
事例数	95	143	8	5	5	7	2	6	8	3	282
割合(%)	33.7	50.7	2.8	1.8	1.8	2.5	0.7	2.1	2.8	1.1	100.0

(3) タミフルとの関連を報告された死亡事例

死亡事例 71人	
異常な行動が記録されている事例 8人	突然死 13人

中外製薬から副作用報告されていない死亡事例 6人

治験期間中の事例1人、論文等の研究報告に記載のあった事例4人、中外製薬がタミフルと関係がないとして副作用報告として報告しなかった事例1人

	10歳 未満	10歳～ 19歳	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳～	不明	合計
事例数	11	5	6	10	4	8	8	6	13		71
割合 (%)	15.5	7.0	8.5	14.1	5.6	11.3	11.3	8.5	18.3	0.0	100.0

(参考)

- 9月30日次点の死亡事例は、5月31日時点の死亡事例71人に、その後の追加情報により因果関係が否定された2例を減じた上、9月30日までに中外製薬(株)から新たに報告された2人を加えた71人である。
- 9月30日時点の転落・飛びおり事例は、5月31日時点の10歳代22人(うち死亡4人)、その他5人(うち死亡2人)に、その後に中外製薬(株)から報告された10歳未満1人(平成18年5月の事例)を加えた、10歳代22人(うち死亡4人)、その他6人(うち死亡2人)である。
また、10月1日以降の報告として、10歳代1例(平成18年2月の事例)がある。